令和８年２月 28 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム　久米の家
サービス種類…認知症対応型共同生活介護
　　共用型認知症通所介護

会議開催日…令和８年２月 26 日（金）　13 時 30 分～14 時 45 分まで
開催場所…小規模多機能型居宅事業所　ほっと　２階　ホール
出席者

事業所	２人	利用者	０人
利用者家族	０人	地域代表者	５人
松江市職員	１人	包括支援センター	１人
知見を有する者	０人	その他（ほっと職員　）	２人

議事

〇外部評価
・自己評価発表
・自己評価の評価基準となった「目標と評価表」「不適切ケアチェクリスト」「スピーチロックチェクチェクリスト」「介護ケア 10 ケ条」「話し方 10 ケ条」を回覧
・外部評価　１ページ

〇1 月の地震発生時の事業所の様子報告
・地震発生時の様子を写真等を使用し伝える
・地震発生後 BCP 委員会で話合い、各班の初動対応について改正した事を発表

〇1～2 月の活動報告とヒヤリハットの対応について
利用者　９名（女性５名　男性４名）
共用型通所　１名（女性１名）
年　齢　平均 86.7 歳　　最少 74 歳　最高 91 歳
介護度　介護１（５名）　介護２（２名）　介護３（２名）
　　介護４（０名）　介護５（０名）　平均 1.6
　　共用型通所　１月　介護１（１名）２月　（０名）
職　員　管理者１名
　　ケアマネージャー1 名
　　＊介護短縮時間制度利用
　　介護職員 10 人（常勤７人（内短縮時間制度利用２名）　非常勤２人
　　＊子の短縮時間制度利用３名
　　＊新規介護職員の紹介動画を流す
　　調理職員２名（非常勤２名）

・事故、苦情、感染症・・・なし
・ヒヤリハット・・・4件
＊夜間不眠傾向のご利用者様が夜間ホール内を歩かれていた時職員が後ろから付き添っていたが体の左側が戸にぶつかってしまいヒヤッとした。外傷はなし。
＊ベット柵が外してあった。ベット柵が何かわかられなくなり外された様であった。
＊車椅子のご利用者様がトイレに行こうとされ数歩歩かれていたのを発見しヒヤッとした。
＊新規ご利用者様が帰宅願望が強く職員と一緒に出られるが気持ちに折り合いがつかなくヒヤッとした。

写真等でホームの生活の様子や地域交流の様子を報告

〇意見交換
・外部評価が難しいという意見が多かった。評価の内容が難しく評価する判断基準が 2 ケ月に1回の推進会に参加するくらいでは、評価出来ない。
・難しく考えず運営推進会議で得る情報で評価すればいいのではないか。
・写真や動画等でわかりやすかった。推進会メンバーになってなければ今もグループホームが近隣にあっても何をされているのかわからなかった。出来たら地域で発表の場を設けたい。
・実地されている事はわかるが評価が難しい。また責任が重い。

上記の様に外部評価の評価について地域住民の方から難しい・・・この会でしないといけないのか・・・の意見が多った。この意見は毎年ありそれを解消するために毎回動画や写真を使用して様子を伝えたつもりであったが不足だったようである。来月の推進会でも外部評価を予定しているがそれまでに事業所もどうしたら評価しやすいか考えていく予定である。

※事業所確認欄

□活動報告についての評価を受けることができたか。	〇
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	〇